

ほんとうのこと

高木善之

喉が痛い。

風邪かもしれないから、走るのはどうしようかなあ、と思ったけど、いつものように「エイヤ！」と奮起して走りに行った。すると、走っていると喉の痛みを忘れた。それは喉の痛みより、走ることの方がしんどいから。これは当たり前のことだけど、ふと気づいた。

なにも心配が無い時は、ちよつとしたことが気になる。でも、大きな問題が起これば、ちよつとしたことは気にならなくなる。大きな借金ができれば、小さい借金の方は気にならなくなる。ヒマな時は、ちよつとしたことともいろいろ考えてしまいが、忙しい時は、ちよつとしたことなど考えるヒマはない。ちよつとしたことは放っておいても、ほとんどの場合どうってことはない。時間が解決してくれるし、よく考えれば、放っておいても問題になることはほとんどない。

私は多くの相談を受けるが、聞いてみれば、ほとんどは下らんことばかり。「で、どうしたいの？」と聞くと、その人は「くどくど」と言う。「じゃあ、やれば？」と言うと、その人は「くどくど」と言う。「じゃあ、やめれば？」と言うと、その人は「くどくど」と言う。「じゃあ、やれば？」と言うと、その人は「くどくど」と言う。「じゃあ、好きなようにやれば」と言えれば、その人なりの答えが見つかる。(ナンダ、コリヤ、サツサ〜♪)

本当に貧しい国の貧しい人は、生きることでも必死だから悩まないし、病まないし、自殺もしない。でも日本は悩む人が増えて、病む人が増えて、自殺が増えて、自殺が増えて、豊かになり、生きることにも必死にならないからでは。要はヒマだからでは。

そもそも、本当に大変だったら、引きこもるだろうか。本当にお金があるなら、ぶらぶらしていられるだろうか。

本当に働きたかったら、「仕事が無い」なんて言っているだろうか。
仕事なんていくらでもある。

(きつい仕事はイヤ、人間関係はイヤ、給料が安いのはイヤ、肉体労働はイヤ) などと選り好みを言っているからではないか。

結婚したいけどできない、なんてあるだろうか。

本当に結婚したければチャンスはいくらでもある。

(不細工な人はイヤ、給与の安い人はイヤ、背の低い人はイヤ、ハゲはイヤ) などと選り好みを言っているからではないだろうか。

※最近、若くて美人で素敵な女性が、「結婚して、と言ってくれれば誰とでも結婚する」と言うのを聞いて感動した。

そもそも、仕事にやりがいが無いとか面白くないとか言うが、ほんとうに忙しければ、やりがいとか、面白いとか、考えるだろうか。

どんな仕事だって必死でやれば満足じゃないだろうか。

「イヤだ、イヤだ」と思いながらやるから、面白くないし、疲れるのでは。

つまらない、楽しくない、なんて甘えじゃないだろうか。

要は、ヒマなんだ。

仕事に集中せず、打ち込まず、必死にやらないから、面白さもわからず、そこまで至らず、不満状態のまま周りを眺めるから、他と比較し不満を募らせて、余計につまらなくなって、余計に疲れてしまうのではないだろうか。

その結果、仕事にミスが出て、迷惑をかけ、叱られ、嫌がられ、居る場所が無くなり、辞めざるを得なくなるのではないか。

本当に仕事がしたいなら、仕事はいくらでもあるし、本当に生きることには必死なら、「つまらない」とか「疲れる」なんて思わないはずだ。

成功した人の話で、「最初の数年は夜中まで働いたなあ。帰って寝ただけだったなあ。睡眠時間は4時間。とにかく働き詰めだったなあ。必死だったから疲れもなかったし、不満もなかった。やめようなんて考えもしなかった」なんて話、よく聞くが、その通りだと思う。

本当にやりたいこと、やらなければならぬことは、誰だって必死になるのだ。

赤ちゃんを産むことは、並大抵のことではない。
赤ちゃんを育てることも、並大抵のことではない。
でも女性なら誰でもやる。誰でもやれる。
必死だから。やるっきゃないから。

お百姓さんは、「今日はしんどいから休もう」なんて言ってもらえない。
今日やることは今日やるっきゃないのだから。
昔の人も、貧しい人も、みんなこんな状態だったのではないだろうか。
狩りをしに行くしかない、水を汲みに行くしかない、薪を取りに行くしかない。
い。生きるためにはやるっきゃないんだから。
そこには、選択の余地はない。楽しいとか、やりがいとかの余地もない。
余地がないから、迷いもない。迷いがないから、気が散らない。
エネルギーも集中できる。集中するから上手いく。

自然界を見てみるといい。

必死に狩りをしないライオンはどうなるだろう。

必死に逃げないシマウマはどうなるだろう。

「体調不良だから、疲れたから、やりがいがないから」なんてあるだろうか。

今の世の中、とても不自然だ。

何もなくてもなんとかなる。

これだけはやらねばならない、ということもない。

お金に困れば生活保護という道もある。

借金しても自己破産すれば返さなくてもいい。

今の世の中、サボろうと思えばどこまでもサボれるのだ。

生きることに必死がなく、必然がなく、必要がない。

最低の線というものが無いのだ。

どこまでも落ちることができるといえるのは恐ろしいことだ。

便利快適な世の中というのは、底なし沼、底なし地獄かもしれない。

どうすればいいと思う？

自分で考えることだ。